



女神ブロンズ時計修復

2007年2月 古典時計協会 上瀬千春

女神ブロンズ台時計修復

修理した部分

1. 台座猫足修理

破損部分を修理した後があったが、接着剤での修理で強度が全くない。下手な時計師がやったものらしい（写真参照）

2. 時打ち用メインスプリング折損

新しいスプリングに取替え（メインスプリング用ワインダー使用）

（このスプリングは現在入手できないが、筆者が以前にロンドンで購入してあったフランスマントル時計の機械のストックから外して使用）

3. 分解掃除および注油

分解後アルコールで洗淨、古い油を取る。その後組み立て注油

- ・この時計は2007年8月25日ドイツのFURTWANGENで購入したもの
- ・ブロンズを外して修復

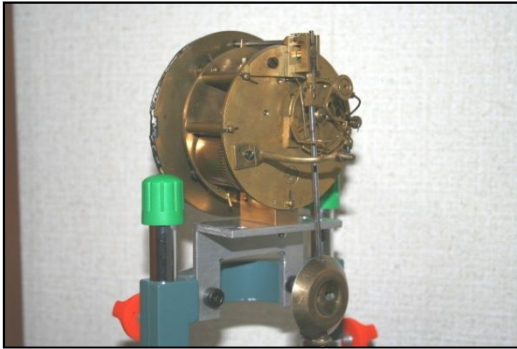
注意: 移動の場合は必ず振り子を外すこと。振り子を外す時やりにくい場合はベルを外してから振り子を外す。



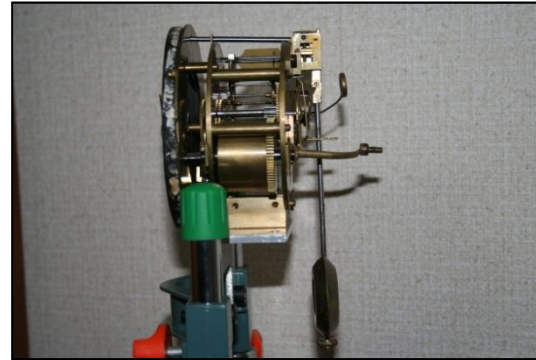
時計機構取り付け金具



調整用スタンド取り付け



振り子を取り付けた背面



側面



正常な猫足



いい加減な修理で壊れた猫足



こういう修理は時計師ではない



アルミ板をリベットで取り付け(絶対折れない)



補強して猫足を取り付け



すわりの良くなった台座



折れたメインスプリング



メインスプリングワインダー
と折れたスプリング